

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名					
病院名		洛南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	46.4	45.4	49.9
感染症	-	-	-	-
計	256	46.4	45.4	49.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,024,886,167	
標準財政規模(千円)	540,357,771	
財政力指数	0.55567	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.8
	将来負担比率(%)	264.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,610,703			
1 経常収益	2,610,603			
(1) 医業収益	1,504,571			
(うち修正医業収益)	1,471,385			
入院収益	1,154,499			
外来収益	310,805			
診療収入計	1,465,304			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	39,267			
(うち他会計負担金)	33,186			
(2) 医業外収益	1,106,032			
(うち国・都道府県補助金)	83,035			
(うち他会計補助・負担金)	1,012,235			
(うち長期前受金戻入)	3,842			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,599,457			
2 経常費用	2,599,300			
(1) 医業費用	2,534,262			
職員給与費	1,829,170	121.6	58.7	104.5
材料費	202,201	13.4	26.9	9.7
(うち薬品費)	159,118	10.6	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,655	0.5	11.7	1.6
減価償却費	84,971	5.6	8.5	12.8
経費	395,432	26.3	21.5	34.3
(うち委託料)	205,268	13.6	11.5	15.4
研究研修費	6,122			
資産減耗費	16,366			
(2) 医業外費用	65,038			
(うち支払利息)	2,775	0.2	0.9	2.2
(3) 特別損失	157			
経常損益	11,303			
純損益	11,246			
累積欠損金	3,730,923			
経常収支比率	100.4		96.5	98.6
医業収支比率	59.4		86.0	61.2
修正医業収支比率	58.1		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	40.0		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	69.5		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	40.0		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	60.2		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,156,588
1 固定資産	2,660,783
(1) 有形固定資産	2,590,714
(2) 無形固定資産	1,749
(3) 投資その他の資産	68,320
2 流動資産	2,495,805
(1) 現金及び預金	2,126,317
(2) 未収金及び未収収益	246,515
(3) 貸倒引当金()	121
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,412,172
1 固定負債	955,390
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	922,390
(2) その他の企業債	28,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	365,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,860
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,458
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	178,905
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,994
(1) 長期前受金	237,027
(2) 長期前受金収益化累計額()	146,033
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,744,416
1 本金	7,471,286
2 剰余金	-3,726,870
(1) 資本剰余金	4,053
(2) 利益剰余金	-3,730,923
負債・資本合計	5,156,588
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,045,421	1,045,421
資本勘定繰入	-	-
計	1,045,421	1,045,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	248.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名			
病院名	与謝の海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,578,087
決算規模(千円)	1,024,886,167
標準財政規模(千円)	540,357,771
財政力指数	0.55567
経常収支比率(%)	94.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,318			
1 経常収益	3,318			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,318			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,318			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,318			
2 経常費用	3,318			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,318			
(うち支払利息)	3,318	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	-		85.4	80.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,209	3,318
資本勘定繰入	173,091	259,638
計	175,300	262,956

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	248.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,284 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	344	85.5	88.1	88.8
療養	-	-	-	-
結核	6	23.0	45.6	25.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	55.9	67.3	57.0
計	354	84.1	87.1	87.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.9	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	49,938,835	
標準財政規模(千円)	24,785,130	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,818,124			
1 経常収益	15,650,106			
(1) 医業収益	14,583,652			
(うち修正医業収益)	14,380,899			
入院収益	8,570,415			
外来収益	5,215,658			
診療収入計	13,786,073			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	797,579			
(うち他会計負担金)	202,753			
(2) 医業外収益	1,066,454			
(うち国・都道府県補助金)	154,179			
(うち他会計補助・負担金)	477,417			
(うち長期前受金戻入)	371,420			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	168,018			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,486,405			
2 経常費用	15,373,643			
(1) 医業費用	14,377,504			
職員給与費	6,229,253	42.7	58.7	59.2
材料費	4,507,620	30.9	26.9	26.1
(うち薬品費)	3,074,236	21.1	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,433,384	9.8	11.7	11.1
減価償却費	779,282	5.3	8.5	8.5
経費	2,789,118	19.1	21.5	21.3
(うち委託料)	1,193,005	8.2	11.5	11.7
研究研修費	52,627			
資産減耗費	19,604			
(2) 医業外費用	996,139			
(うち支払利息)	118,792	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	112,762			
損益	276,463			
純損益	331,719			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		96.5	95.9
医業収支比率	101.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	100.0		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	4.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	4.3		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	97.4		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,520,154
1 固定資産	16,099,424
(1) 有形固定資産	15,347,047
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	752,377
2 流動資産	10,420,730
(1) 現金及び預金	7,915,014
(2) 未収金及び未収収益	2,472,460
(3) 貸倒引当金()	5,595
(4) 貯蔵品	38,225
3 繰延資産	-
負債合計	12,845,555
1 固定負債	8,772,628
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,280,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,492,598
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,541,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	896,072
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	465,700
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,123,525
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,530,991
(1) 長期前受金	6,866,183
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,335,192
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,674,599
1 本金	5,131,828
2 剰余金	8,542,771
(1) 資本剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	1,162,575
負債・資本合計	26,520,154
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,017,083	680,170
資本勘定繰入	574,619	578,127
計	1,591,702	1,258,297

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院 大江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	83.1
療養	52	85.6	88.3	74.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	85.6	88.3	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	26.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	49,938,835	
標準財政規模(千円)	24,785,130	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	705,022				
1 経常収益	700,037				
(1) 医業収益	561,442				
(うち修正医業収益)	561,442				
入院収益	421,240				
外来収益	122,598				
診療収入計	543,838				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	17,604				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	138,595				
(うち国・都道府県補助金)	2,653				
(うち他会計補助・負担金)	73,305				
(うち長期前受金戻入)	31,408				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	4,985				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	690,047				
2 経常費用	680,237				
(1) 医業費用	625,205				
職員給与費	427,757	76.2	58.7	78.7	
材料費	21,371	3.8	26.9	14.5	
(うち薬品費)	14,523	2.6	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,848	1.2	11.7	6.1	
減価償却費	31,973	5.7	8.5	11.8	
経費	141,998	25.3	21.5	32.3	
(うち委託料)	52,526	9.4	11.5	15.3	
研究研修費	1,681				
資産減耗費	425				
(2) 医業外費用	55,032				
(うち支払利息)	2,323	0.4	0.9	1.1	
(3) 特別損失	9,810				
経常損益	19,800				
純損益	14,975				
累積欠損金	-				
経常収支比率	102.9		96.5	96.4	
医業収支比率	89.8		86.0	72.4	
修正医業収支比率	89.8		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	92.1		85.4	73.0	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,520,154
1 固定資産	16,099,424
(1) 有形固定資産	15,347,047
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	752,377
2 流動資産	10,420,730
(1) 現金及び預金	7,915,014
(2) 未収金及び未収収益	2,472,460
(3) 貸倒引当金()	5,595
(4) 貯蔵品	38,225
3 繰延資産	-
負債合計	12,845,555
1 固定負債	8,772,628
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,280,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,492,598
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,541,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	896,072
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	465,700
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,123,525
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,530,991
(1) 長期前受金	6,866,183
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,335,192
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,674,599
1 本金	5,131,828
2 剰余金	8,542,771
(1) 資本剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	1,162,575
負債・資本合計	26,520,154
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	72,285	73,305
資本勘定繰入	22,125	35,588
計	94,410	108,893

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	舞鶴市				
病院名	舞鶴市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,671 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	100	88.2	87.1	86.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	88.2	87.1	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	80,336	
決算規模(千円)	38,579,725	
標準財政規模(千円)	20,198,262	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	70.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	948,311			
1 経常収益	946,592			
(1) 医業収益	682,869			
(うち修正医業収益)	682,869			
入院収益	641,776			
外来収益	29,340			
診療収入計	671,116			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	11,753			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	263,723			
(うち国・都道府県補助金)	3,442			
(うち他会計補助・負担金)	226,113			
(うち長期前受金戻入)	28,649			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,719			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	987,998			
2 経常費用	987,526			
(1) 医業費用	952,228			
職員給与費	663,041	97.1	58.7	67.7
材料費	59,605	8.7	26.9	18.3
(うち薬品費)	25,233	3.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,124	4.1	11.7	9.1
減価償却費	73,855	10.8	8.5	10.3
経費	152,236	22.3	21.5	29.4
(うち委託料)	87,585	12.8	11.5	13.6
研究研修費	2,916			
資産減耗費	575			
(2) 医業外費用	35,298			
(うち支払利息)	11,361	1.7	0.9	1.1
(3) 特別損失	472			
経常損益	-40,934			
純損益	-39,687			
累積欠損金	73,250			
経常収支比率	95.9		96.5	95.4
医業収支比率	71.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	71.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	23.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	33.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	23.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	73.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,405,014
1 固定資産	1,653,453
(1) 有形固定資産	1,623,248
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	30,205
2 流動資産	751,561
(1) 現金及び預金	605,940
(2) 未収金及び未収収益	145,176
(3) 貸倒引当金()	967
(4) 貯蔵品	1,412
3 繰延資産	-
負債合計	1,416,002
1 固定負債	1,098,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	918,666
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	176,702
(6) リース債務	2,888
2 流動負債	175,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,474
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,901
(6) リース債務	1,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	142,528
(1) 長期前受金	401,935
(2) 長期前受金収益化累計額()	259,407
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	989,012
1 資本金	789,561
2 剰余金	199,451
(1) 資本剰余金	272,701
(2) 利益剰余金	-73,250
負債・資本合計	2,405,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	226,113	226,113
資本勘定繰入	38,207	38,207
計	264,320	264,320

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	綾部市				
病院名	綾部市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,662 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	206	71.0	66.9	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	71.0	66.9	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.6	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	31,846	
決算規模(千円)	20,303,410	
標準財政規模(千円)	10,254,069	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	95.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,262,836			
1 経常収益	6,262,836			
(1) 医業収益	5,911,527			
(うち修正医業収益)	5,867,714			
入院収益	2,753,738			
外来収益	2,940,200			
診療収入計	5,693,938			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	217,589			
(うち他会計負担金)	43,813			
(2) 医業外収益	351,309			
(うち国・都道府県補助金)	113,792			
(うち他会計補助・負担金)	104,052			
(うち長期前受金戻入)	66,669			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,570,286			
2 経常費用	6,537,381			
(1) 医業費用	6,423,607			
職員給与費	18,979	0.3	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	425,538	7.2	8.5	9.3
経費	5,968,258	101.0	21.5	28.2
(うち委託料)	1,557	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	10,832			
(2) 医業外費用	113,774			
(うち支払利息)	24,965	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	32,905			
経常損益	-274,545			
純損益	-307,450			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.8		96.5	93.2
医業収支比率	92.0		86.0	81.2
修正医業収支比率	91.3		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	2.4		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	2.5		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	2.4		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	93.5		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,148,549
1 固定資産	6,047,321
(1) 有形固定資産	5,466,317
(2) 無形固定資産	1,334
(3) 投資その他の資産	579,670
2 流動資産	2,101,228
(1) 現金及び預金	949,483
(2) 未収金及び未収収益	1,182,861
(3) 貸倒引当金()	31,125
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,939,967
1 固定負債	1,650,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,650,108
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	538,722
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	257,093
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,235
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	274,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	751,137
(1) 長期前受金	1,635,302
(2) 長期前受金収益化累計額()	884,165
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,208,582
1 資本金	3,156,990
2 剰余金	2,051,592
(1) 資本剰余金	159,297
(2) 利益剰余金	1,892,295
負債・資本合計	8,148,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	427,291	147,865
資本勘定繰入	103,075	31,290
計	530,366	179,155

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	亀岡市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,947 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	100	75.4	68.5	69.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.4	68.5	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.5	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	86,174	
決算規模(千円)	45,213,761	
標準財政規模(千円)	19,860,045	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	65.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,521,811			
1 経常収益	3,521,811			
(1) 医業収益	2,948,284			
(うち修正医業収益)	2,764,976			
入院収益	1,951,957			
外来収益	746,267			
診療収入計	2,698,224			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	250,060			
(うち他会計負担金)	183,308			
(2) 医業外収益	573,527			
(うち国・都道府県補助金)	80,040			
(うち他会計補助・負担金)	359,310			
(うち長期前受金戻入)	15,531			
(うち資本費繰入収益)	107,512			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,454,223			
2 経常費用	3,429,990			
(1) 医業費用	3,238,661			
職員給与費	1,558,307	52.9	58.7	67.7
材料費	1,051,842	35.7	26.9	18.3
(うち薬品費)	202,150	6.9	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	849,692	28.8	11.7	9.1
減価償却費	166,723	5.7	8.5	10.3
経費	455,798	15.5	21.5	29.4
(うち委託料)	285,092	9.7	11.5	13.6
研究研修費	2,120			
資産減耗費	3,871			
(2) 医業外費用	191,329			
(うち支払利息)	33,413	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	24,233			
損益	91,821			
純損益	67,588			
累積欠損金	385,878			
経常収支比率	102.7		96.5	95.4
医業収支比率	91.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	85.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	15.4		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	86.9		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,111,711
1 固定資産	2,527,510
(1) 有形固定資産	2,527,510
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	584,201
(1) 現金及び預金	135,890
(2) 未収金及び未収収益	426,718
(3) 貸倒引当金()	311
(4) 貯蔵品	21,882
3 繰延資産	-
負債合計	3,141,596
1 固定負債	2,010,205
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,882,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,313
(6) リース債務	-
2 流動負債	956,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	359,417
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	86,180
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	510,059
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	175,135
(1) 長期前受金	293,722
(2) 長期前受金収益化累計額()	118,587
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-29,885
1 本金	355,993
2 剰余金	-385,878
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-385,878
負債・資本合計	3,111,711
不良債務	12,638
実質資金不足額	12,638
資本不足額()	29,885
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	507,671	542,618
資本勘定繰入	107,512	107,512
計	615,183	650,130

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	12,638	0.4
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.1
健全化法上の資金不足額(千円)	12,638
健全化法上の資金不足比率(%)	0.4
地財法上の資金不足額(千円)	12,638
地財法上の資金不足比率(%)	0.4

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立弥栄病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,714 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	70.2	67.7	66.8
療養	-	-	-	61.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	70.2	67.7	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	16.4	16.3

設立団体の状況	
人口(人)	50,860
決算規模(千円)	38,209,667
標準財政規模(千円)	20,606,704
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	95.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.0
将来負担比率(%)	113.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,839,786			
1 経常収益	3,823,359			
(1) 医業収益	3,170,877			
(うち修正医業収益)	2,919,355			
入院収益	1,844,520			
外来収益	884,129			
診療収入計	2,728,649			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	442,228			
(うち他会計負担金)	251,522			
(2) 医業外収益	652,482			
(うち国・都道府県補助金)	173,050			
(うち他会計補助・負担金)	266,452			
(うち長期前受金戻入)	187,052			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,427			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,111,168			
2 経常費用	4,095,498			
(1) 医業費用	3,923,482			
職員給与費	1,970,607	62.1	58.7	67.7
材料費	571,916	18.0	26.9	18.3
(うち薬品費)	214,037	6.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	323,777	10.2	11.7	9.1
減価償却費	400,331	12.6	8.5	10.3
経費	956,770	30.2	21.5	29.4
(うち委託料)	304,410	9.6	11.5	13.6
研究研修費	10,028			
資産減耗費	13,830			
(2) 医業外費用	172,016			
(うち支払利息)	32,367	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	15,670			
損益				
経常収支比率	93.4		96.5	95.4
医業収支比率	80.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	80.7		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,770,321
1 固定資産	7,431,728
(1) 有形固定資産	7,015,813
(2) 無形固定資産	1,370
(3) 投資その他の資産	414,545
2 流動資産	1,338,593
(1) 現金及び預金	374,545
(2) 未収金及び未収収益	976,078
(3) 貸倒引当金()	39,900
(4) 貯蔵品	27,694
3 繰延資産	-
負債合計	8,812,171
1 固定負債	5,882,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,705,949
(2) その他の企業債	175,212
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,055
2 流動負債	1,728,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,275
(2) その他の企業債	24,560
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	244,521
(6) リース債務	1,808
(7) 一時借入金	620,000
(8) 未払金及び未払費用	299,989
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,201,611
(1) 長期前受金	5,246,832
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,045,221
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-41,850
1 本金	1,449,347
2 剰余金	-1,491,197
(1) 資本剰余金	2,432,519
(2) 利益剰余金	-3,923,716
負債・資本合計	8,770,321
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	41,850
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	518,596	517,974
資本勘定繰入	138,975	174,811
計	657,571	692,785

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.0
健全化法上の資金不足額(千円)	46,688
健全化法上の資金不足比率(%)	0.7
地財法上の資金不足額(千円)	46,688
地財法上の資金不足比率(%)	0.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立久美浜病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	9,602 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	110	79.2	71.3	80.5
療養	60	86.5	74.1	78.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	81.8	72.3	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.7	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,860	
決算規模(千円)	38,209,667	
標準財政規模(千円)	20,606,704	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	113.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,143,964			
1 経常収益	3,100,895			
(1) 医業収益	2,684,087			
(うち修正医業収益)	2,472,091			
入院収益	1,513,630			
外来収益	884,729			
診療収入計	2,398,359			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	285,728			
(うち他会計負担金)	211,996			
(2) 医業外収益	416,808			
(うち国・都道府県補助金)	74,324			
(うち他会計補助・負担金)	232,960			
(うち長期前受金戻入)	76,572			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	43,069			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,103,972			
2 経常費用	3,098,735			
(1) 医業費用	2,988,084			
職員給与費	1,844,436	68.7	58.7	67.7
材料費	347,365	12.9	26.9	18.3
(うち薬品費)	130,614	4.9	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	169,271	6.3	11.7	9.1
減価償却費	160,452	6.0	8.5	10.3
経費	623,340	23.2	21.5	29.4
(うち委託料)	323,165	12.0	11.5	13.6
研究研修費	10,948			
資産減耗費	1,543			
(2) 医業外費用	110,651			
(うち支払利息)	10,038	0.4	0.9	1.1
(3) 特別損失	5,237			
経常損益	2,160			
純損益	39,992			
累積欠損金	1,640,407			
経常収支比率	100.1		96.5	95.4
医業収支比率	89.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	82.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	85.7		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,770,321
1 固定資産	7,431,728
(1) 有形固定資産	7,015,813
(2) 無形固定資産	1,370
(3) 投資その他の資産	414,545
2 流動資産	1,338,593
(1) 現金及び預金	374,545
(2) 未収金及び未収収益	976,078
(3) 貸倒引当金()	39,900
(4) 貯蔵品	27,694
3 繰延資産	-
負債合計	8,812,171
1 固定負債	5,882,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,705,949
(2) その他の企業債	175,212
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,055
2 流動負債	1,728,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,275
(2) その他の企業債	24,560
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	244,521
(6) リース債務	1,808
(7) 一時借入金	620,000
(8) 未払金及び未払費用	299,989
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,201,611
(1) 長期前受金	5,246,832
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,045,221
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-41,850
1 本金	1,449,347
2 剰余金	-1,491,197
(1) 資本剰余金	2,432,519
(2) 利益剰余金	-3,923,716
負債・資本合計	8,770,321
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	41,850
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,364	444,956
資本勘定繰入	104,969	167,259
計	549,333	612,215

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.0
健全化法上の資金不足額(千円)	46,688
健全化法上の資金不足比率(%)	0.7
地財法上の資金不足額(千円)	46,688
地財法上の資金不足比率(%)	0.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	精華町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,910 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	86.4	86.6	87.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	86.4	86.6	87.6
平均在院日数(一般病床のみ)		43.8	44.0	37.6

設立団体の状況		
人口(人)	36,198	
決算規模(千円)	15,556,706	
標準財政規模(千円)	9,107,013	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	33.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	28,497			
1 経常収益	28,497			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	28,497			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,020			
(うち長期前受金戻入)	17,702			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	40,652			
2 経常費用	40,652			
(1) 医業費用	40,651			
職員給与費	8,710	-	58.7	78.7
材料費	-	-	26.9	14.5
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	6.1
減価償却費	29,476	-	8.5	11.8
経費	2,073	-	21.5	32.3
(うち委託料)	1,285	-	11.5	15.3
研究研修費	4			
資産減耗費	388			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-12,155			
純損益	-12,155			
累積欠損金	-			
経常収支比率	70.1		96.5	96.4
医業収支比率	-		86.0	72.4
修正医業収支比率	-		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	35.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	45.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	451,765
1 固定資産	437,764
(1) 有形固定資産	437,280
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	14,001
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	3,198
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	271,221
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	798
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,996
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,198
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	267,225
(1) 長期前受金	793,221
(2) 長期前受金収益化累計額()	525,996
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	180,544
1 資本金	77,450
2 剰余金	103,094
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	103,094
負債・資本合計	451,765
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	318	10,020
資本勘定繰入	3,665	7,330
計	3,983	17,350

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹波町				
病院名	国保京丹波町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	47	54.5	55.9	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	54.5	55.9	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	21.3	22.1

設立団体の状況		
人口(人)	12,907	
決算規模(千円)	11,522,795	
標準財政規模(千円)	6,787,382	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.8
	将来負担比率(%)	66.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	976,663			
1 経常収益	976,663			
(1) 医業収益	647,922			
(うち修正医業収益)	613,325			
入院収益	263,111			
外来収益	289,159			
診療収入計	552,270			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,652			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	328,741			
(うち国・都道府県補助金)	30,979			
(うち他会計補助・負担金)	254,080			
(うち長期前受金戻入)	17,662			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	963,186			
2 経常費用	963,186			
(1) 医業費用	929,299			
職員給与費	609,075	94.0	58.7	89.5
材料費	56,907	8.8	26.9	13.4
(うち薬品費)	34,895	5.4	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,910	2.3	11.7	5.5
減価償却費	58,941	9.1	8.5	14.0
経費	201,537	31.1	21.5	46.3
(うち委託料)	123,745	19.1	11.5	22.2
研究研修費	352			
資産減耗費	2,487			
(2) 医業外費用	33,887			
(うち支払利息)	5,460	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	13,477			
純損益	13,477			
累積欠損金	318,908			
経常収支比率	101.4		96.5	97.3
医業収支比率	69.7		86.0	60.9
修正医業収支比率	66.0		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	44.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	29.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	71.4		85.4	63.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,963,218
1 固定資産	1,420,462
(1) 有形固定資産	1,388,588
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	31,874
2 流動資産	542,756
(1) 現金及び預金	410,679
(2) 未収金及び未収収益	129,044
(3) 貸倒引当金()	2,586
(4) 貯蔵品	5,619
3 繰延資産	-
負債合計	678,712
1 固定負債	344,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	344,657
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	117,424
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,291
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,611
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	216,631
(1) 長期前受金	409,317
(2) 長期前受金収益化累計額()	192,686
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,284,506
1 本金	1,561,171
2 剰余金	-276,665
(1) 資本剰余金	36,553
(2) 利益剰余金	-313,218
負債・資本合計	1,963,218
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	286,848	288,677
資本勘定繰入	23,194	23,194
計	310,042	311,871

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合		
病院名	京都中部総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,447 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	450	70.5	71.1	71.1
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	119.4	152.6	-
計	464	69.4	70.3	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.0	14.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,766,274			
1 経常収益	11,766,274			
(1) 医業収益	10,702,661			
(うち修正医業収益)	10,552,661			
入院収益	6,890,993			
外来収益	3,442,807			
診療収入計	10,333,800			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	368,861			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,063,613			
(うち国・都道府県補助金)	216,362			
(うち他会計補助・負担金)	261,073			
(うち長期前受金戻入)	49,008			
(うち資本費繰入収益)	312,743			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,738,427			
2 経常費用	11,738,427			
(1) 医業費用	10,955,872			
職員給与費	5,510,343	51.5	58.7	55.7
材料費	2,732,736	25.5	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,308,959	12.2	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,423,777	13.3	11.7	12.7
減価償却費	511,453	4.8	8.5	7.9
経費	2,163,992	20.2	21.5	18.1
(うち委託料)	1,398,772	13.1	11.5	10.0
研究研修費	34,576			
資産減耗費	2,772			
(2) 医業外費用	782,555			
(うち支払利息)	44,247	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	27,847			
純損益	27,847			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		96.5	97.5
医業収支比率	97.7		86.0	90.0
修正医業収支比率	96.3		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	3.5		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	96.7		85.4	88.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,749,927
1 固定資産	11,187,712
(1) 有形固定資産	9,116,210
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,071,502
2 流動資産	5,562,215
(1) 現金及び預金	2,719,227
(2) 未収金及び未収収益	2,757,532
(3) 貸倒引当金()	24,031
(4) 貯蔵品	100,736
3 繰延資産	-
負債合計	6,746,715
1 固定負債	3,448,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,448,990
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,162,328
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	541,482
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	400,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,149,271
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,135,397
(1) 長期前受金	2,267,910
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,132,513
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,003,212
1 本金	7,738,988
2 剰余金	2,264,224
(1) 資本剰余金	1,002,736
(2) 利益剰余金	1,261,488
負債・資本合計	16,749,927
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	753,357	411,073
資本勘定繰入	312,743	312,743
計	1,066,100	723,816

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合		
病院名	京都山城総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,183 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	345	68.1	71.0	67.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	-	35.5	62.7
計	355	66.1	69.9	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.3	12.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,738,709			
1 経常収益	8,738,113			
(1) 医業収益	7,809,251			
(うち修正医業収益)	7,756,287			
入院収益	4,938,234			
外来収益	2,556,352			
診療収入計	7,494,586			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	314,665			
(うち他会計負担金)	52,964			
(2) 医業外収益	928,862			
(うち国・都道府県補助金)	283,265			
(うち他会計補助・負担金)	304,016			
(うち長期前受金戻入)	171,722			
(うち資本費繰入収益)	126,014			
(3) 特別利益	596			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,996,006			
2 経常費用	8,880,108			
(1) 医業費用	8,480,242			
職員給与費	4,293,748	55.0	58.7	59.2
材料費	2,102,035	26.9	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,094,100	14.0	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	942,348	12.1	11.7	11.1
減価償却費	495,693	6.3	8.5	8.5
経費	1,570,308	20.1	21.5	21.3
(うち委託料)	680,888	8.7	11.5	11.7
研究研修費	15,587			
資産減耗費	2,871			
(2) 医業外費用	399,866			
(うち支払利息)	56,546	0.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	115,898			
損益	-141,995			
純損益	-257,297			
累積欠損金	229,099			
経常収支比率	98.4		96.5	95.9
医業収支比率	92.1		86.0	86.4
修正医業収支比率	91.5		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	4.1		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	94.4		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,395,933
1 固定資産	6,575,526
(1) 有形固定資産	6,275,552
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	299,346
2 流動資産	2,820,407
(1) 現金及び預金	1,387,308
(2) 未収金及び未収収益	1,316,638
(3) 貸倒引当金()	958
(4) 貯蔵品	117,419
3 繰延資産	-
負債合計	5,362,069
1 固定負債	2,459,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,454,439
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,377
2 流動負債	1,447,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	646,149
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	304,200
(6) リース債務	1,769
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	464,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,454,301
(1) 長期前受金	3,238,127
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,783,826
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,033,864
1 本金	4,262,963
2 剰余金	-229,099
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-229,099
負債・資本合計	9,395,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	571,433	356,980
資本勘定繰入	409,430	293,377
計	980,863	650,357

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。